

沖縄県民の豊かさをめざして

県内産業の活性化と人材育成・就労支援・子どもの貧困対策

沖縄振興審議会 専門委員 伊東 繁

沖縄振興課題の総括

教育分野

- ・高校進学率が全国平均より低い
- ・高校の無い離島における教育機会の不均衡
- ・大学進学率は40%で全国最下位(全国平均55%)
- ・大学進学者の46%が県外の大学へ進学
- ・県内大学の理工系学部生は全体の27%(全国33%)

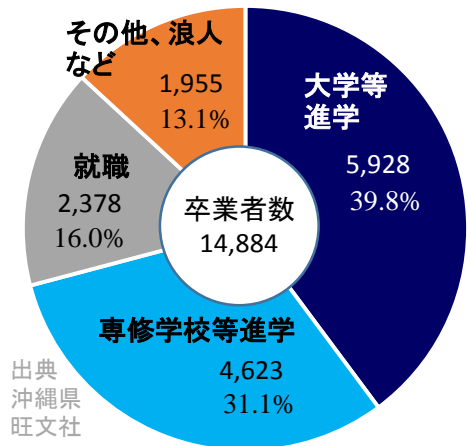
産業分野

- ・大学(理工系)高専卒業者の受け皿となる県内産業が少ない
- ・非正規職員・従業員の割合が44.5%で全国1位(全国平均38.2%)
- ・雇用が不安定で子どもの貧困率が高い
- ・地域資源活用が不十分で沖縄ブランド(特産品)が少ない
- ・離島の産業育成・活性化
- ・ものづくり地場産業が少なく、工場誘致も不十分で、旧特別自由貿易地域の工場用地の6割が未利用

沖縄県の高等学校卒業生および高等教育機関卒業生の進路

沖縄県の高等学校卒業生の進路状況

平成27年度 高校卒業後の進路(単位:人)



H27年度大学等進学率

全国平均 54.6% **沖縄県 39.8%(最下位)**

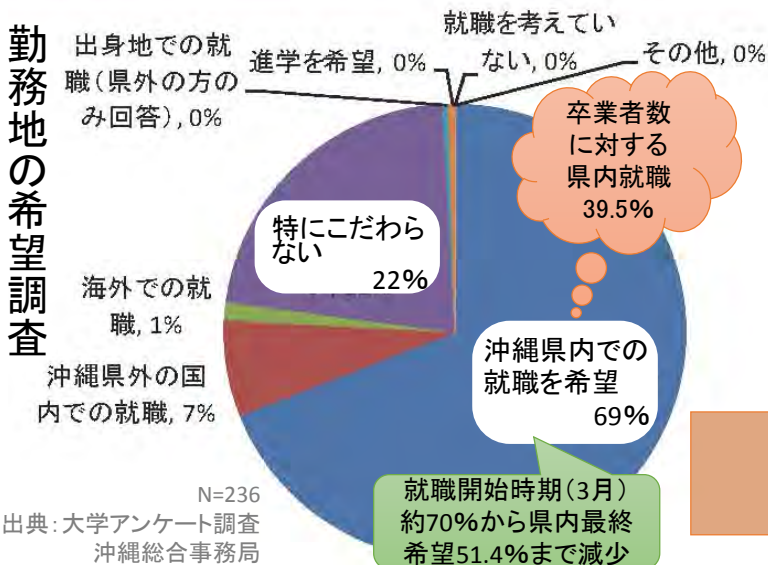
大学入学者数(既卒含) 7086名

県内大学 3807名 (53.7%) **地元出身者占有率78.7%(1位)**

県外大学 3279名 (46.3%)

沖縄県内では受け皿となる大学が少なく、
やむなく県外大学へ進学するため大きな経済的負担

沖縄県の高等教育機関学生の就職に対する意識調査・就職状況



平成27年3月新規大卒者の就職内定状況

(厚生労働省 沖縄労働局)

	卒業(予定)者数	大学院進学	就職希望者数			就職内定者数		無業者 21%
			県内	県外	県内	県外		
大学	3,960	319	2,831	2,037	794	2,180	1,566	614
(%)		8.05 (45位)	71.5	51.4	20.1	55.0	39.5	15.5

沖縄県内への就職希望者は69%であるにもかかわらず、
沖縄県内に希望する業種・職種を選択肢が少ない

地域資源を活用する新たな基幹産業創生による 雇用の創出・産業活性化・就労支援・こどもの貧困対策モデル(案)

地理的優位性・地域資源を活かした 産業活性化と新たな基幹産業の創生による 雇用の創出・起業支援

- 沖縄型高付加価値農業の展開
・香粧・薬草・精油原料植物栽培

- 沖縄由来の高付加価値生物資源の活用
・一次原料の生産(精油抽出工場)
- 薬草・創薬工場
- 野菜工場・食品加工工場
・生鮮野菜の海外展開・県内安定供給
・果実(柑橘類・パイナップル・マンゴーなど)
・農産物・海産物

- ICT・ロボティクス活用による海底資源生物資源探査機器の開発
・医療介護支援機器の開発・組み込み産業の展開
- 沖縄文化・風土・環境に配慮した観光資源としての都市開発

新たな
沖縄ブランド商品
の開発

県内・国内市場
・流通業・商業

国外市場
・国際物流
・国際ビジネス



職住近接による就労支援
社会人の再チャレンジ

技術を習得して働く環境の充実

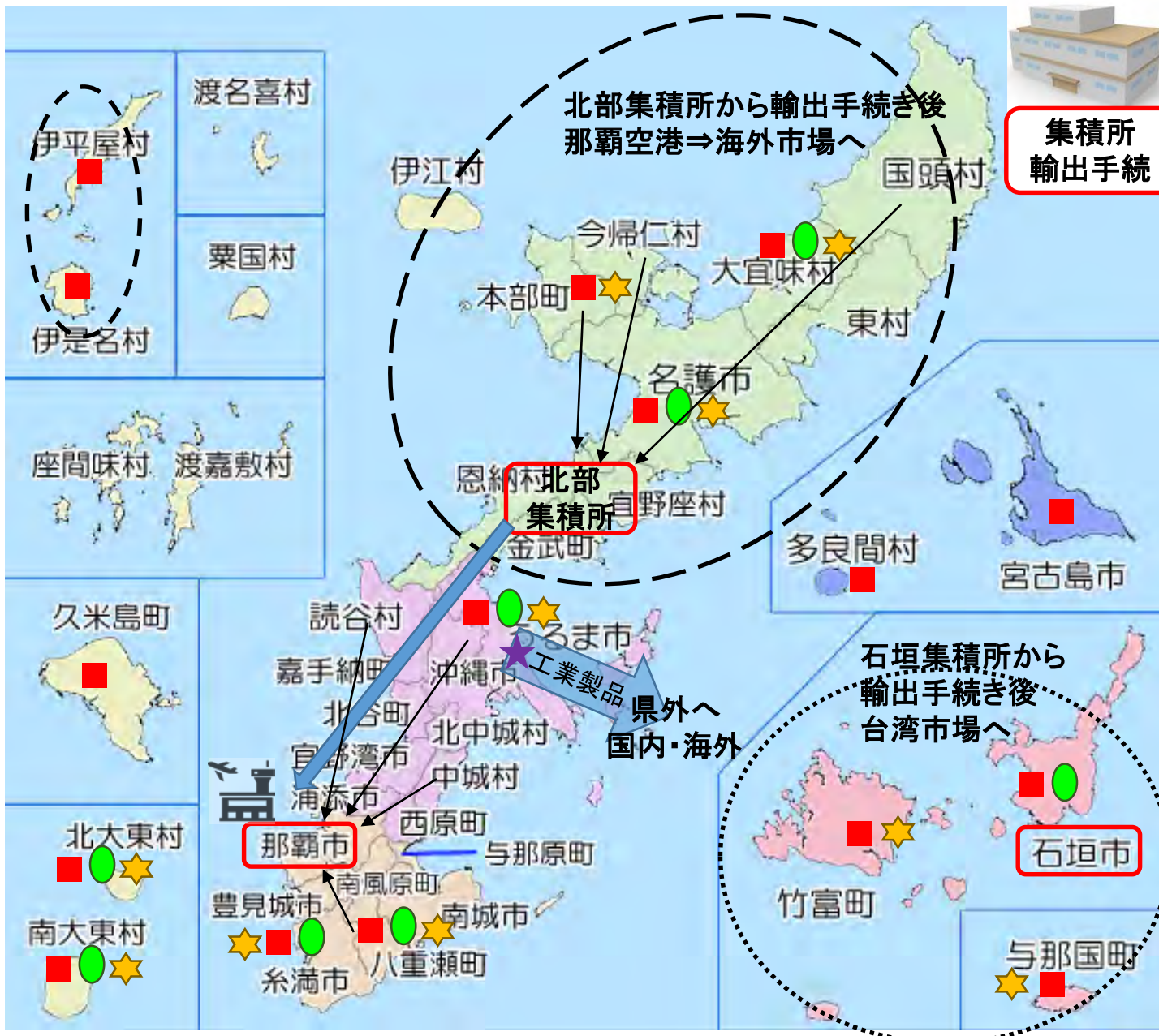
- ・社会人学び直しの機会を作る
- ・社会人再チャレンジの機会を作る

職住近接による
こどもの貧困対策

教育環境の充実

子ども達の学びの場を作る
(地域コミュニティ・公民館)

新たな沖縄ブランド品の輸出に関する地域の役割



食品加工工場



野菜工場



精油工場



工業団地



沖縄県民の豊かさをめざして

地理的優位性・地域資源を活用する
最新技術を取り入れた産業活性化および
基幹産業の創生による雇用の創出・起業支援

新たな沖縄ブランド商品開発
・品質管理 ・安定供給

国外・国内の市場へ展開
・国内・国際物流・国際ビジネス

いずれも高度なスキルを持った人材が要求され
沖縄県の経済界から新たな公立の理工系人材育成機関を求める
提言がなされている

沖縄県民の意向に沿った
新たな公立の理工系高等人材育成機関が必要と思われる

以上のことに鑑み、沖縄県は、新たな公立の理工系高等人材育成機関につ
いての検討をすすめられたい